

子どもが撮影した写真から読み解く、子どもへの新たな調査アプローチ 「こども目線調査 2010」レポート発行のお知らせ

～大人化する（大人的感覚を持つ）一方で、
大人にはない子どもならではの感覚も持ち合わせる今の子どもたち～

株式会社 アサツー ディ・ケイ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：清水與二 以下ADK）は、子どもが捉える今を、子どもの目線から明らかにする「こども目線調査」を実施しました。

ADKでは、1977年（当時は旧旭通信社）に「子ども調査」を実施して以来、2005年には現R&Dセンター内に「キッズマーケティンググループ（旧キッズプロジェクト）」を編成し、「子ども」「親子」に関する調査研究を継続的に行ってきました。

これまでは定量的な調査を中心に行ってきましたが、近年、「社会環境」「情報環境」「生活環境」とあらゆる側面で子どもを取り巻く環境が変わっていく中で、子ども自身が何を考え、どのようなことに心動かされているのかを、深く定性的に見ていく必要性があると考えました。

実際に、大人が目線から子どもをテーマにした調査や議論は多くされていますが、当事者である子どもがどう捉えているかを調べている調査や議論は意外と少ないのが現状です。

ADKキッズマーケティンググループは、子ども自身が自分たちの生活及び世の中をどのように捉えているのかを見ていくことを通じて、子どもをテーマにした社会的な課題のソリューションや、子どもへのコミュニケーションはもちろんのこと、大人にも響くコミュニケーションアプローチのヒントがあると考え、最初のステップとして、子どもにテーマを与えて写真を撮ってもらい（親の介入を極力排除する）ことを核に、従来の記述調査を加えた新しいアプローチの調査を実施しました。

以下は、「こども目線調査 2010」調査レポートからのトピックスを3つご紹介します。
（調査レポートでは以下を含む、8つのファインディングをまとめています。7ページを参照下さい。）

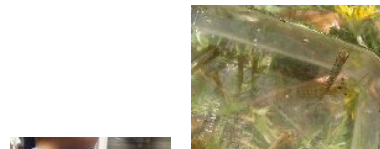
■Topic1: 男女で逆転現象。花男子と生き物女子

感動したこと・気になることとして、植物の成長（花が咲く・芽が出る等）や生き物を撮影してくる子どもが多い。中でも、園児～小学校低学年の男子で花や植物の写真が多く、女子で昆虫や魚などの生き物の写真が目立った。



■Topic2: 癒しの場所を求める子ども。ネコ化が進行。

「お気に入りの場所は？」という質問に対して、公園や家の中の遊び場所が多く挙げると考えていたが、アクティブに活動する場所の写真ではなく、ベッド・押入れ・トイレなど自分にとって心地よい・落ち着ける場所が子どもの性・年齢問わず多く挙げられた



■Topic3: 幸せの本質を掴んでいる子ども。身の丈の幸せ。

「幸せとはどんなこと？」と聞くと、子どもなりに、子どもだからこそ、純粋な気持ちで「幸せ」を捉え、的確に表現できていた。子どもだから答えられないという予想に反し、既に大人と同等それ以上に考える・感じる力を持っており、今の身の丈の生活に幸せを感じていることが明らかになった。

※詳しくは次ページ以降を参照ください。

今回の結果から、今の子どもの目線として、幸せとは何かのように大人的な感覚で捉える部分と、子どもならではの感覚で捉える部分の両方があることが明らかになりました。

また、小さい子どもでも、質問を自分なりに捉えて答えることができおり、子どもへの調査をする場合には、簡単で子どもっぽい質問にしないと答えられない、という調査上の暗黙のルールが必ずしもそうでないという結果となりました。

子どもだから楽しい・面白ければよいといった画一的なアプローチや、子どもを一括りにとらえたアプローチではなく、自ら情報収集し、意思決定をする一人の生活者として、子どもを先入観なく捉えることが今後はさらに求められていくと考えられます。

ADKキッズマーケティンググループでは、今回の調査結果をふまえて、今の子どもの捉え方として3つのアイからなる“キッズアイ”のスタンスで、今後も子どもの目線を追いかけていきたいと考えます。

【ADKキッズマーケティンググループの子どもの捉え方】

キッズアイ



子どもを子ども扱いせず、自らの意思で情報収集し、自ら行動する一人の生活者として捉えます。

子どもの目線を大事にします。子ども自身がリアルに何を見て何を考えているのかを明らかにします。

子どもだましのアプローチではなく、子どもの心の奥に響く、さらに大人の心にも響く、コミュニケーションのツボを明らかにします。

【本調査結果に関するお問い合わせ先】

R&Dセンター キッズマーケティンググループ
赤嶋 栄、田原 誠、奥田 真理子、三角 啓一郎
Tel:03-3547-2367 / e-mail: akashima@adk.jp

コーポレート本部 広報室 大内 尚子、矢島 正司
Tel:03-3547-2003 / e-mail: yajimas@adk.jp

■調査目的

子どもを取り巻く環境を“子ども自身”がどのように捉え・どのようなことに心動かされているのかを、“子どもの目線”から明らかにする。

■調査概要

□調査対象:園児 (5-6歳)～小学校高学年男女

□調査手法:インターネットを活用した ①写真調査+②記述調査

※写真調査: ネット経由でデータ送信、記述調査: ネット上の調査画面で入力して返信。

※回答方法: 基本は子供が自分で写真をとり、子供が記述する方式。

園児・小学校低学年で子どもが一人ではできない場合は親がサポート。

□サンプル数: 342人

□エリア : 全国

| | 園児 (5-6歳) | 小学校 1-3年生 | 小学校 4-6年生 |
|----|--------------|--------------|--------------|
| 男子 | 53s | 57s | 58s |
| 女子 | 55s | 61s | 58s |

■調査機関

2010年4月23日(金)～4月30日(金)

■質問内容

①写真調査 子ども自身にテーマを与えて写真を撮影してもらうことで、彼らの目線を知る。

Q1. 最近、「感動したこと」(すごい!・やったー!・うれしい・じーんときたなど)はどのようなことですか?

Q2. 最近、「悲しかったこと・怒ったこと・嫌だなと思ったこと」はどのようなことですか?

Q3. 最近、「気になっていること」はどのようなことですか?

Q4. 最近の、「お気に入りの場所」はどこですか?

②記述調査 子どもに自分で記入(年齢によっては親が代理記入)してもらうことで、彼らが日常感じていること・思っている本音を引き出す。

Q5. 一日、何をしてもいいよという日があったら、どんなことをしたいですか?

Q6. 今はできないけれど、大人になったらやってみたいことは何ですか?

Q7. 気になることについて調べるときは、まずどうやって調べていますか?

Q8. あなたにとって幸せとはどのようなものだと思いますか?

Topic1

花男子 と 生き物女子

デジタルネイティブキッズの感動のツボは植物・生き物の成長・変化

感動したことの写真として多く挙がるのは、花などの植物の成長や生き物に関することが多い。
花の成長・変化に感動する女子的男子と生き物に興味を持つ男子的女子が特徴的

「最近、感動したことはどんなことですか／最近気になっていることはどんなことですか？」という質問に、おもちゃなどを何かを買ってもらったことや、ゲームをクリアしたことなどを写真として撮影してくるケースが多く挙がると想像していたが、植物の成長（花が咲く・芽が出る等）や生き物を通じての感動が目立った。特に、園児～小学校低学年の男子は、5人に1人は感動した対象として、花や植物を撮影をしていた。

①花・植物に感動する“男子”



水仙がいっぱい咲いたから、うれしかった。いままでこんなに咲かなかったから。
(園児男子)



ぼくが植えたチューリップが、いろいろな色で、たくさん咲いた
(小2男子)



家の外、花がたくさんある、きれい
(園児男子)

②魚や昆虫などの生き物が気になる“女子”



エサをあげるときによってきて指をさわるから。すごい。私のことが好きみたい。
(園児女子)



いつもメダカしか釣れない池で初めてカワエビが釣れた。ママ達は何回やっても釣れなくて私だけ釣れた。本でみたことがあるけど本物は初めて見た。大事に育てたいと思った。
(小3女子)



わたしは毎年カブトムシの幼虫を育てています。今年は8匹です。その8匹のうちの何匹が大人になるか気になります。カブトムシにならなかった時もあったのでとてもしんどいです。はやく大きくなって欲しいです。
(小3女子)

Topic2

ネコ化する子どもたち

お気に入り、せまい・あたたかい・落ち着ける場所

楽しい・アクティブな場所の写真ではなく、自分が休める・リラックスできるスペースを挙げる子どもが多い。“子どもの3rdプレイス欲求”の芽生え。

「お気に入りの場所は？」という質問に対して、公園や家の中の遊び場所が多くあがると考えていたが、アクティブに活動する場所の写真ではなく、自分にとって心地よい・落ち着ける場所を挙げる子どもが性・年齢問わず多く挙げられた



洗濯籠の中。
自分でとれないから
とってもらった。
かごの中が
落ち着くから。

(園児男子)



この中で寝るのが
きもちいい (園児男子)

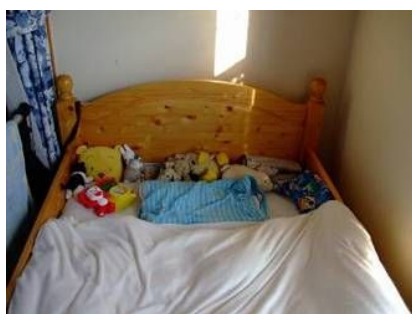


ベランダの
クーラーの
室外機の上
よく鳥が飛んで
くるし空がよく
みえる

(小1男子)



家のベランダのまど
ここにもたれていると
落ち着くから (小5男子)



ベットです。
ぬいぐるみがたくさん
いて、可愛いし、
ふわふわだから。
ベットがすきです。

(小2男子)



ベットを撮りました。
なぜベットを撮ったのか
と言うと、
ベットの右の方の
すきまに足を入れるのが
気持ちいいからです。

(小3女子)



家のトイレ。
歌ったり、
やつあたりしたり
して自分だけの
時間がほっとする

(小6女子)



タンスの上で
せまくて
落ち着くから。

(小6女子)

Topic3

幸せの本質を既に掴めている

子どもだから難しいことは判らない、そんなことは今の時代あてはまらない。
むしろ子どもだからこそ、純粋な気持ちで「幸せ」を捉え、的確に表現できている。
子どもでも、既に大人と同等それ以上に考える・感じる力を持っている。

「幸せとはどのようなものか？」と聞いて子どもが答えられるのかという疑問があったが、園児などの小さい子どもでも幸せとは何かを直感的に回答している子どもは多く、物質的な豊かさよりも精神的な豊かさが多くあげられた。小学校高学年になるとより自分なりの幸せとは何かを持っており、日常に幸せを感じていることが明らかになった。また、少子化の影響か、兄弟姉妹がいることが幸せという記述も一部で見られた。

①小さい子の捉える幸せ “詩人”

- ・幸せは、気持ちいいときに生まれる。(園児男子) ・いつも。(小1女子)
- ・大切なものを持っているということ。(園児男子) ・虹が見えたら幸せ。だってキレイから。(小1女子)
- ・元気な体のこと。(園児男子) ・笑うの。泣くのだめやから。(小1女子)
- ・ひとりじゃないこと。(園児男子) ・皆が笑ってるとき(小1女子)
- ・みんなが長くいざられること(園児男子)
- ・幸せって言うのは一日中たのしいこと
(園児女子)
- ・お空の虹を見ること。(園児女子) ・きょうはいちにちラッキーだった、
とおもえること(小2女子)
- ・雪がふると。(園児女子) ・おかあさんが生きてる事。それじゃないと
すみたち生まれてないんだよ。(小2女子)

②小学校高学年の捉える幸せ “身の丈”

- ・生きていられること(小5男子)
- ・今のままの生活(小6男子)
- ・生きてること、健康で障害もないこと、
苦しくないこと(小5男子)
- ・いい人を見つけて結婚することが
幸せだと思います。(小4女子)
- ・こうして普通に生活出来ていること。
すごく豪華な物を望むのではなくて、当たり前
に過ごしている時が一番幸せだと思う。(小5女子)
- ・家で好きな物に囲まれて、
のんびり暮らしている普通の生活。(小6女子)
- ・ちゃんとした仕事があって、家庭があって、
家族がいて、お金も困らないくらいにはあって、
家族が仲良く楽しくくらすこと。(小6女子)

③兄弟姉妹がいることが幸せ

- ・弟がいて幸せ(園児男子)
- ・おねえちゃんとあそんでいるとき(小2男子)
- ・妹といっしょにいられることが幸せ。(小3男子)
- ・妹がいること(小3女子)

■Topic1: 男女で逆転現象。花男子と生き物女子



■Topic2: 癒しの場所を求める子ども。ネコ化が進行

■Topic3: 幸せの本質を掴んでいる子ども。身の丈の幸せ



■Topic4: ソーシャルテーマを捉える子ども



■Topic5: 地に足つけたい肉食キッズ



■Topic6: 子どもならではのチカラ。当たり前から気づく疑問力

■Topic7: 気になることは親にネットで調べてもらう“親ネットキッズ”

■Topic8: 意外な事実。大人になったら車を運転したい子どもたち。

※詳しくはレポートがありますのでお問い合わせください。